

保護者の皆様

仙台市立根白石小学校
校長 當房 正浩

令和4年度 学校運営に関する評価の結果と考察

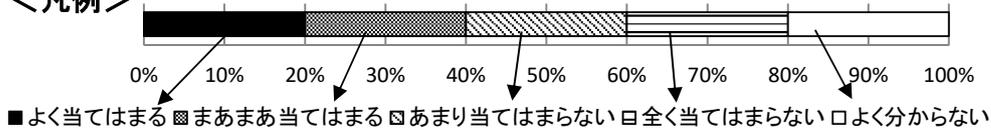
早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年12月に実施しました令和4年度の学校運営に対する保護者アンケートに、たくさんの保護者の方々にご協力をいただき、ありがとうございました。深く感謝申し上げます。皆様から寄せられたご意見とともに、児童の生活アンケート・教職員の自己評価、また、一部の項目については地域の方々からいただいた評価も加えてまとめましたので、お知らせいたします。

なお、評価から見えてきた課題については改善策を立て、来年度の学校運営に生かしてまいります。今後ともご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

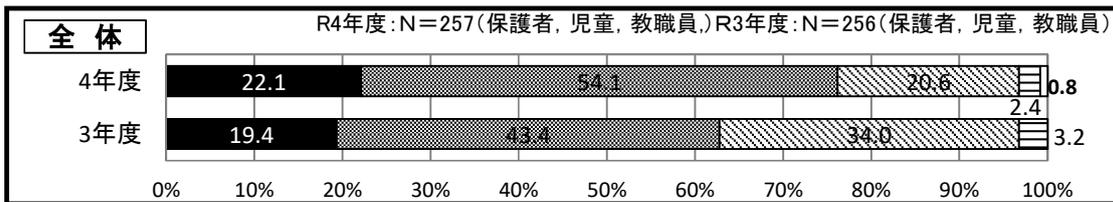
★ 各グラフの標記については、下の凡例を参考にしてください。

<凡例>

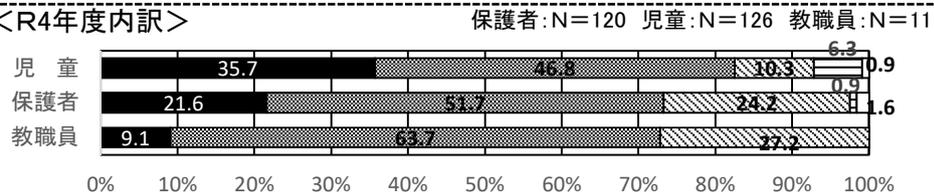


1 重点目標について「自分の考えや思いを持ち、自分なりに考える子供の育成」

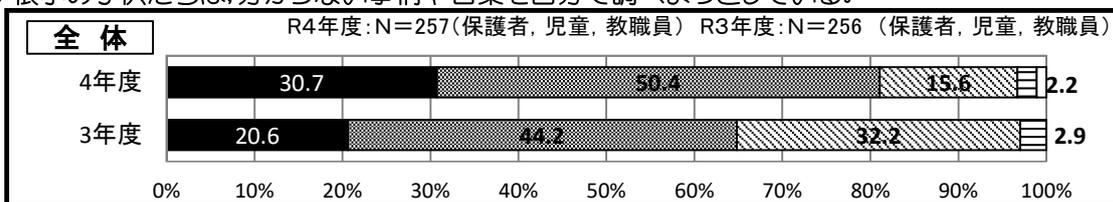
① 根小の子供たちは、伝えたいことがよく分かるように考えをまとめたり工夫して伝えたりしている。



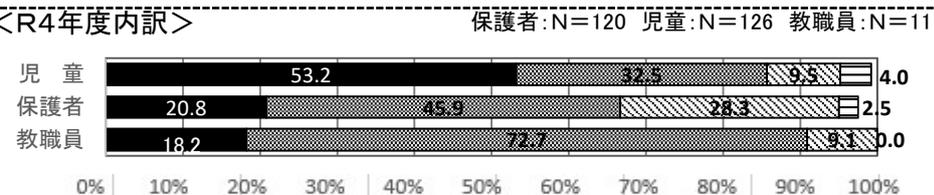
<R4年度内訳>



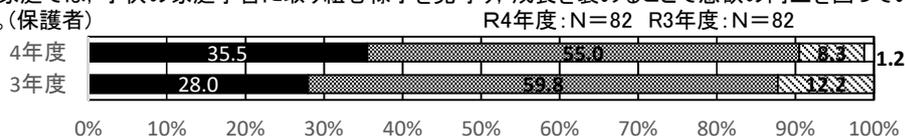
② 根小の子供たちは、分からない事柄や言葉を自分で調べようとしている。

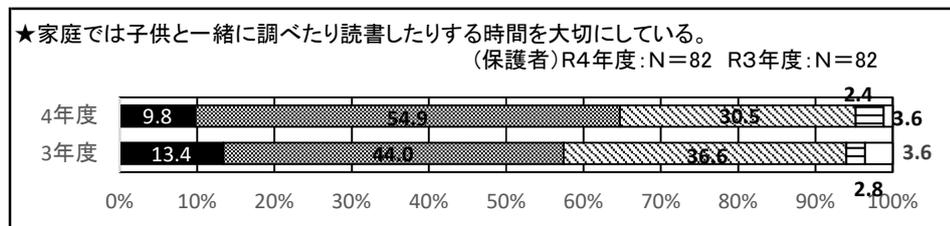


<R4年度内訳>

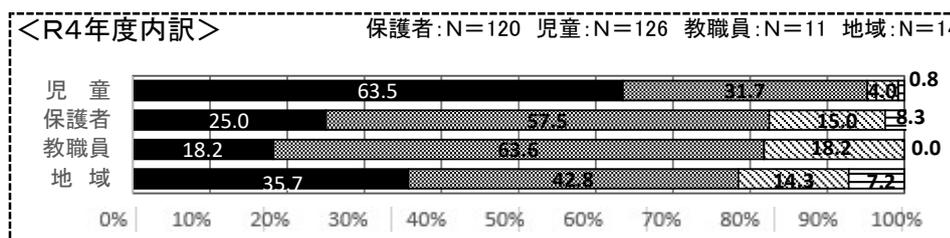
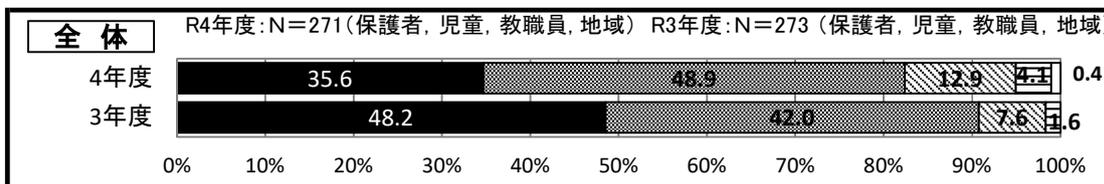


★家庭では、子供の家庭学習に取り組む様子を見守り、成長を褒めることで意欲の向上を図っている。(保護者)





③ 根小の子供たちは、元気よく挨拶をしたり、気持ちの良い返事をしたりすることができる。



<自分の考えを分かりやすく伝える> <分からないことを自分で調べる>

<元気よく挨拶する, 気持ちの良い返事をする>

今年度の重点目標は「自分の考えや思いを持ち自分なりに伝える子供の育成」でした。

項目①を見ると、約83%の児童が、自分の考えを分かりやすく伝えようと意識して学習活動に取り組んできたことがうかがえます。昨年度の約81%からの微増傾向です。また、項目②を見ると、約86%の児童が分からない事柄や言葉を自分で調べることに力を入れてきたことがうかがえます。こちらは、昨年度の約78%から増加が見られました。

今年度は、ここ2年、コロナ禍のため十分な活動ができなかった自分の考えを話す場面や考えの交流の場を大切に授業を展開してきました。また今年度は、Chromebookを用いた調べ学習、考えをまとめる学習にも力を入れてきました。分からないことをその場ですぐに調べることができたり、伝えたいことを画像や文章に入力してまとめて発表したり、それらを用いて効率的に考えを交流したりすることができるようになりました。その成果として、今まで発表や考えの交流活動に苦手意識を持っていた児童も意欲的に取り組む姿が見られるようになってきました。

しかしながら、要点を押さえて話したり、筋道立てて自分の考えを話したりまとめたりすることには、まだ課題が見られます。次年度は、話す力だけでなく、情報を取捨選択してまとめる力や情報機器を効果的に活用して発表する力についても、発達段階に応じた到達度などを示しながら、指導に当たっていき、子供たちの確かな力へつながっていくようにしたいと考えています。

★「子供の家庭学習に取り組む様子を見守り、成長を褒めることで意欲の向上を図っている。」に「当てはまる」と回答した家庭の割合は約90%で、昨年度に引き続き高い傾向です。

また、★「家庭では子供と一緒に調べたり読書したりする時間を大切にしている。」に「当てはまる」と回答した割合は、昨年度から約7%増加となっております。ご家庭での見守りや励ましが、児童の意欲向上につながっております。ご多用と思いますが、引き続きお力添えお願いいたします。

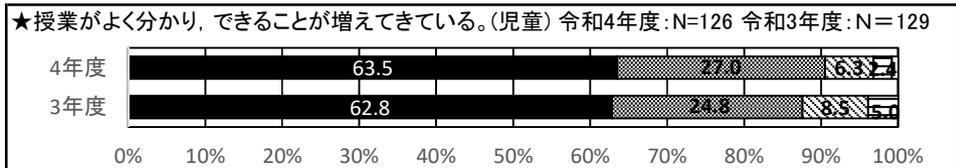
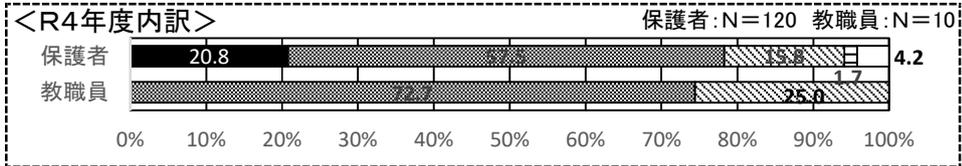
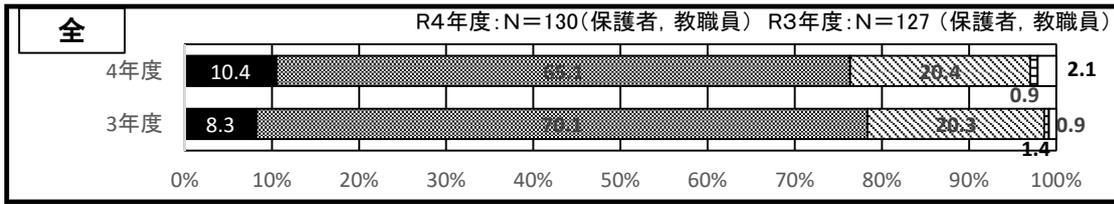
項目③の「元気よく挨拶する, 気持ちの良い返事をする」について、他の項目に比べて概ね良い評価を得ておりますが、昨年度までに比べると、地域や教職員の評価にやや低下が見られています。児童の評価と大人の評価に差も見られており、実際の様子を見ても個人差が大きいと感じられる項目です。

コロナ禍を経て、挨拶をする習慣の希薄化等、子供だけの課題とも言い難い面もあります。学校としては、先取り挨拶や大きな声で挨拶をすることなど、まずは以前まで取り組んできたことを再度見直し、取り組んでいくとともに、大人から積極的に挨拶をしていただくなど、家庭・地域の皆様とも共有しながら取り組みを行っていきたくと考えています。

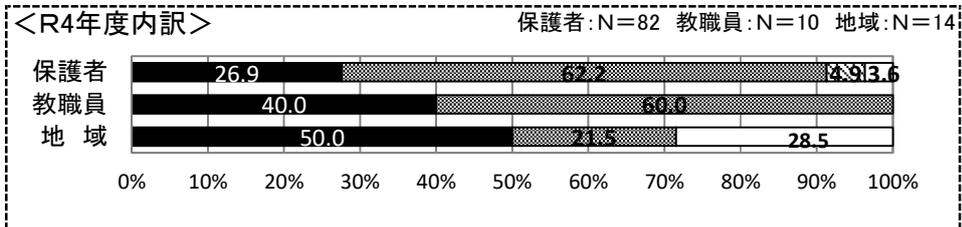
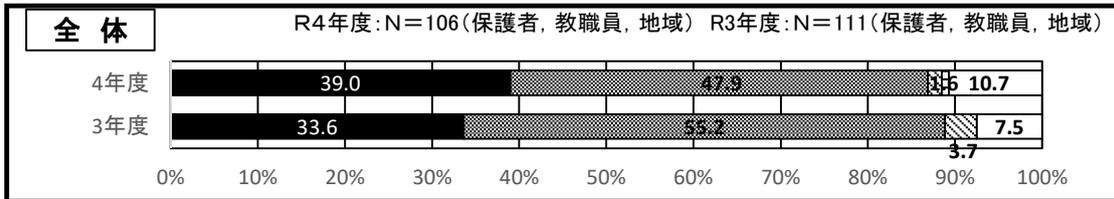
2 学校教育目標について

(1)「進んで学びよく考える子」

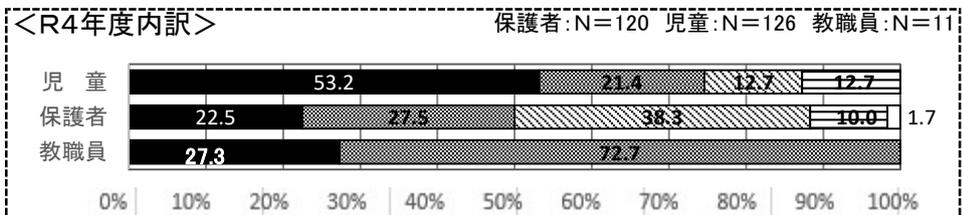
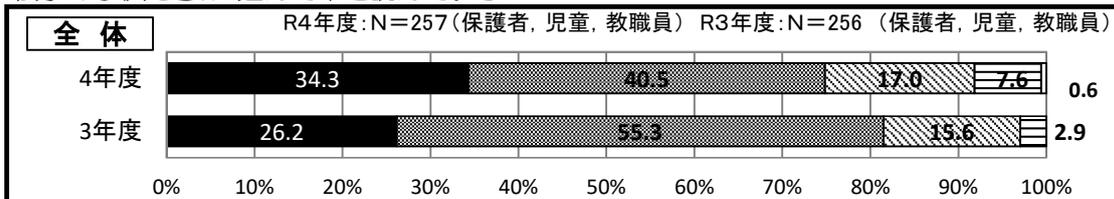
④ 根小の児童は、授業で学習した内容を理解し、基礎・基本的な学力が身に付いている。



⑤ 根白石小学校は、児童に基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせる、指導の工夫・改善に努めている。



⑥ 根小の子供たちは、進んで本を読んでいる。



<基礎的・基本的な知識・技能の習得と指導の工夫><進んで読書をする>

項目④「根小の子供は、授業で学習した内容を理解し、基礎・基本的な学力が身に付いている。」では、昨年度より低下し、76%の回答者が「当てはまる」と答えています。★「授業がよく分かりできることが増えてきている。」に「当てはまる」と回答した児童は90%に上り、昨年度に引き続き分かる喜びやできる楽しさを感じながら学習している児童が多いです。一方、「やや当てはまらない」「分からない」と回答した児童も10%弱おり、保護者と教職員の回答と照らし合わせて見ても、すべての児童の習得を目指していくことが、次年度の課題だと考えています。

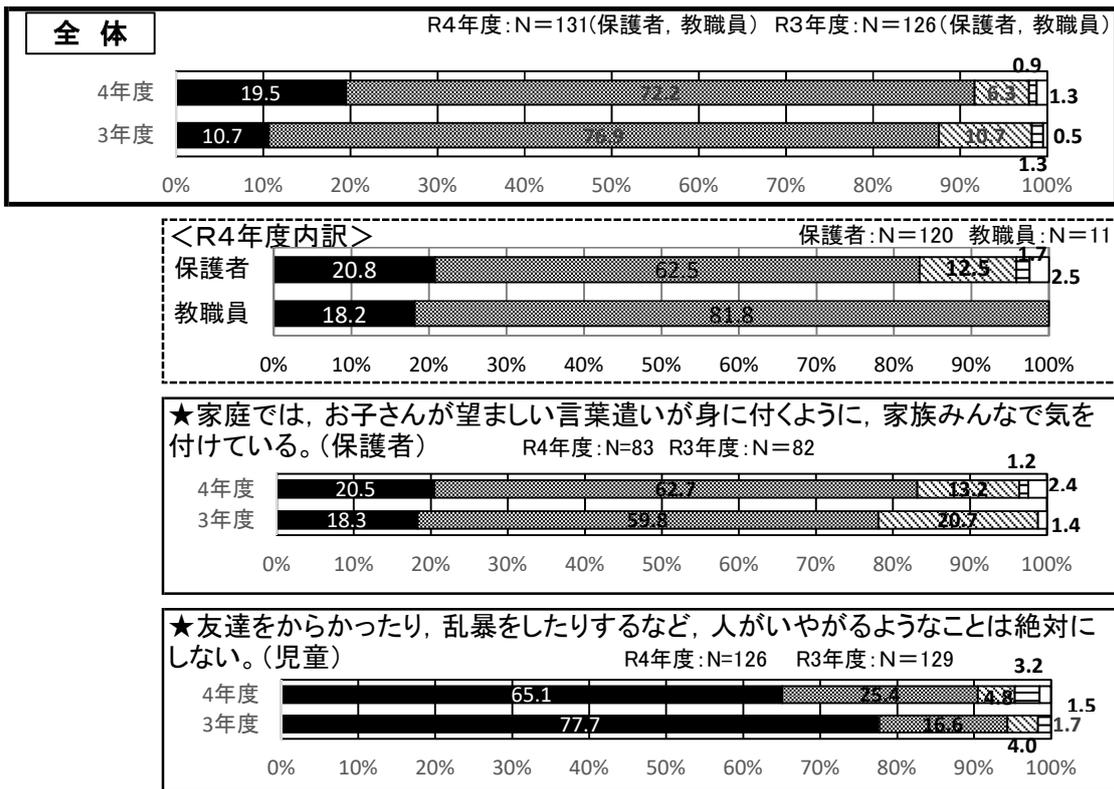
項目⑤「学校は児童に基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせる指導の工夫・改善に努めている。」では、85%以上の回答者が「当てはまる」と答えており、学校として取り組んでいることが地域や保護者の皆様にご理解いただけた結果と受け止め、うれしく思っております。

今年度は、朝のスキルタイムにおいて習熟度に合わせた反復練習を行ったり、学習用アプリやデジタルドリルなどを導入したりして国語や算数などを中心に基礎基本の定着を進めてきました。また、児童の自主的な学習への取組を賞賛してきたこともあり、児童の学習への意欲や実感にもつながっていると考えています。こうした傾向を持続させ、一層の力の定着につなげられるように、個に応じた学習の工夫や、授業改善に努めていきたいと思っております。

項目⑥の読書については、昨年度同様、教職員・児童と保護者との間で評価に大きな開きが出ています。学校でも、Chromebookの利用を進めてきたことにより、文字や図書に触れる機会がやや減少したことも一因と考えています。次年度は、調べ学習に活用できる図書の充実を一層図るとともに、すきま時間での読書の推奨、担任による読み聞かせや図書活用等、文字に触れる時間を大切にしていきたいと考えています。また、学校での読書活動への取組を紹介しながら、家庭への啓発も図っていきたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願いたします。

(2)「人にやさしくする子」

⑦ 根小の児童は、家族や友達に対して、思いやりのある言葉遣いや接し方ができる。



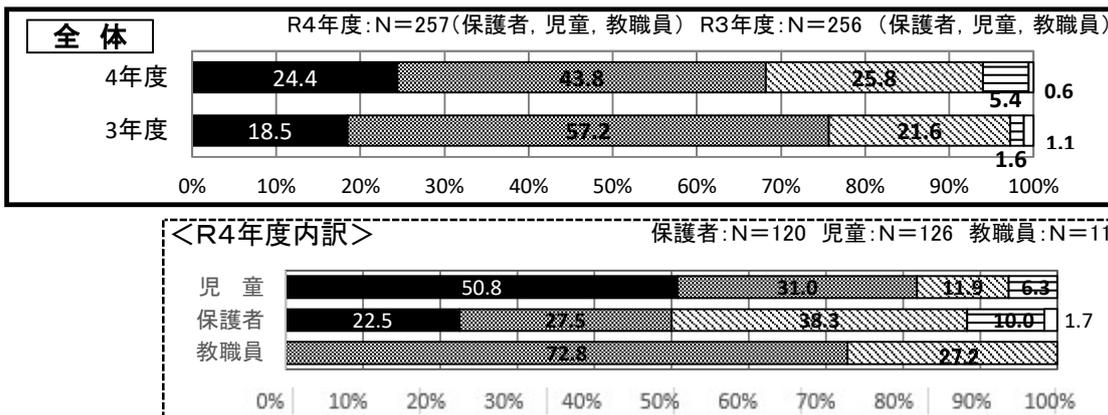
<思いやりのある言葉遣い、行動>

項目⑦「家族や友達に対して、思いやりのある言葉遣いや接し方ができる。」では、約92%の回答者が「当てはまる」と答えています。また、★「友達をからかったり、乱暴をしたりするなど、人がいやがるようなことは絶対にしない。」の質問に対して、約90%の児童が「当てはまる」と答えていますが、自分の生活を振り返り、「できていない」と感じている児童も10%弱います。

今年度は、コロナ禍ではありましたが、たてわり活動や学校行事での異学年交流なども積極的に行ってきました。お互いの頑張りを認め合いながら思いやりのある行動ができていく場面も多く見られます。しかしながら、児童同士の関わりが増えたことでトラブルとなってしまう場面も少し増え、関わり方を学ばせていくこともありました。もともと心優しい本校の児童ですので、自身の行動を振り返ることを通して、改善や成長につながっている児童も多くいます。次年度も引き続き、学校・家庭・地域が連携して思いやりのある子供たちの育成に当たってまいります。

(3) 「自分に負けない子」

⑧ 根小の子供たちは、目標を持ち、最後まで諦めないでやり抜くことができる。



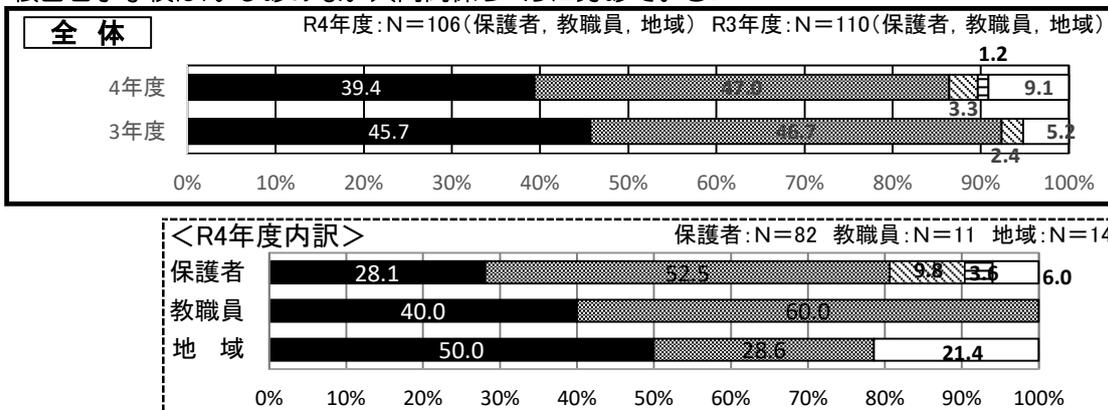
<目標を持ち、諦めないで最後までやり抜く力の育成について>

項目⑧「目標を持ち、最後まで諦めないでやり抜くことができる」では、約68%の回答者が「当てはまる」と答えており、昨年度より低下が見られます。内訳を見ると、「当てはまる」と答えている児童は、約82%になりますが、保護者は「当てはまる」が約50%と、評価が低い項目となっており、児童と保護者との間で評価に大きな開きが見られています。

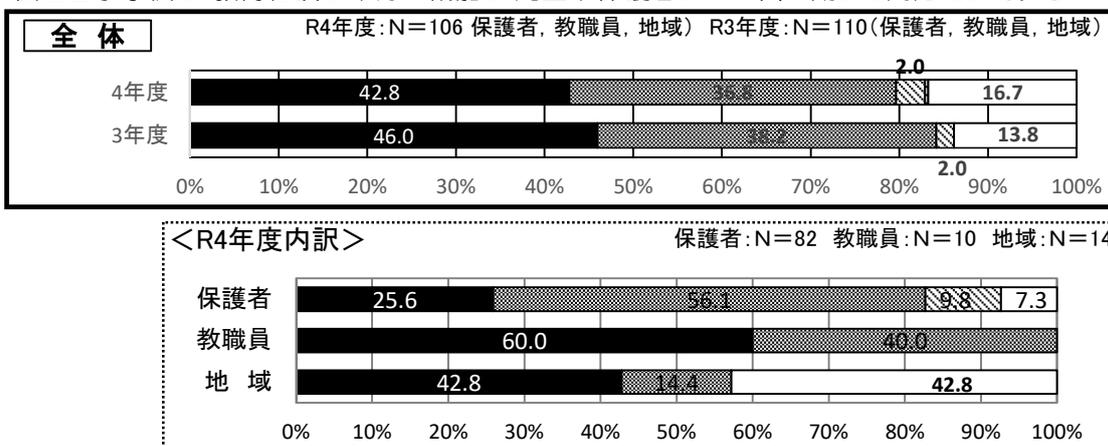
学校では、学習面だけでなく、コロナ禍ではありましたが行事や日々の学習・生活において児童のよさや頑張りを認め、自己肯定感や達成感を得られるような活動を大事にしてきました。次年度は、こうした活動を大切にしていけることはもちろん、学級懇談会や学級便りの中で児童の頑張りを具体的に伝えることを意識的に続けていくことや、「仙台自分づくりノート」の活用等も行いながら、児童への目標の持たせ方や振り返りの仕方の工夫も試みていきたいと考えています。お力添えの程よろしくお願いいたします。

3 「いじめのない温かい学校」について

⑨ 根白石小学校は、いじめのない人間関係づくりに努めている。



⑩ 根白石小学校は、教育相談が十分に機能し、児童や保護者のニーズに則した対応をしている。



<いじめのない人間関係づくり> <教育相談とニーズに則した対応>

項目⑨の「いじめのない人間関係づくり」については、約87%の回答者が「おおむね良好」と評価しています。年4回の学校生活アンケートや児童との面談を通して、児童への丁寧な聞き取りをしており、保護者とも協力をしながら、いじめの発見と解決に努めてまいりました。解決に向けて、ご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げます。本校は、保護者の皆様、地域の皆様のご協力もあり、児童にとって自分の居場所があり、安心して生活できる学校となっております。今後も、子供たちが互いの良さを認め合い、一人一人が持てる力を十分発揮できるような温かな学級・学校づくりを一層推し進めます。また、「根白石小学校いじめ対策基本方針」は、機会あるごとに見直してまいります。ご意見等がある場合は、学校までお聞かせ願います。

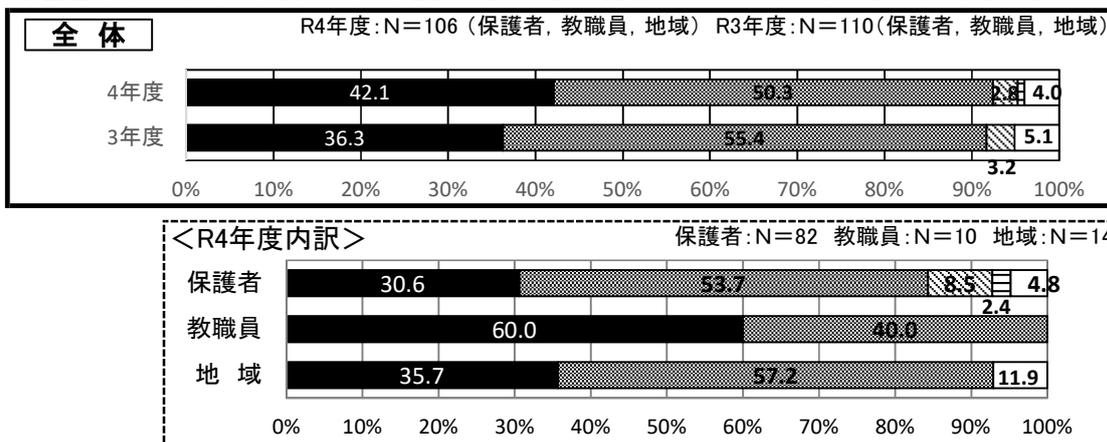
項目⑩の「教育相談とニーズに則した対応」については、「おおむね良好」という割合が約80%、昨年度よりやや低下したものの、学校では、お子さん一人一人を大切に、必要に応じて個別に相談をさせていただいておりましたので、高い評価をいただけたことをうれしく思います。来年度も、引き続き、お子さんや保護者の皆様の悩みをうかがい、一緒に考え、共に取り組んでいきたいと思っております。

また、項目⑨⑩ともに「よく分からない」との回答も多くいただきましたので、いじめの未然防止に向けた取組の周知や、より相談しやすい学校を目指して、日頃から児童や保護者の方との信頼関係の構築を目指した取組への周知にも力を入れていきたいと思っております。

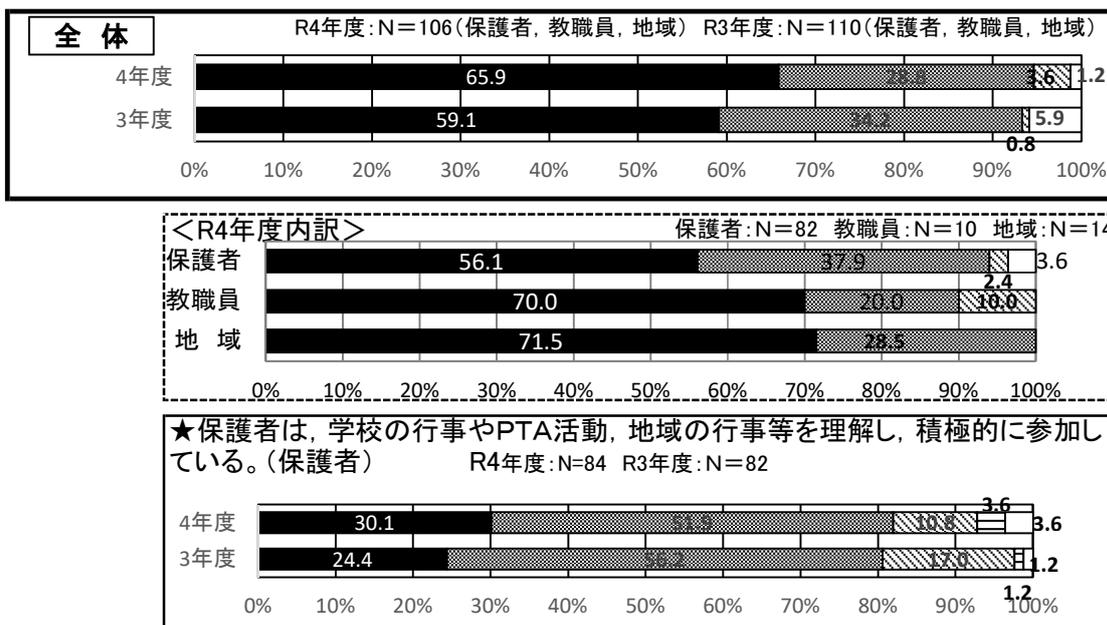
教育相談の学校の窓口は教頭ですが、教頭以外の担任や養護教諭や特別支援コーディネーターにお伝えいただいても結構です。また、本校の教員だけではなく、スクールカウンセラーや関係機関との相談もできますので、いつでも気軽にお声掛けください。

4 地域と共に歩む学校

⑪ 根白石小学校は、教育方針や教育活動について、保護者や地域に分かりやすく伝えている。



⑫ 根白石小学校は、行事などの教育活動を通し、各団体（PTA、育成会、アセ踊り保存会、市民センターなど）との連携を図り、地域に開かれた学校づくりに努めている。



<分かりやすい情報発信>

項目⑪の「教育方針や教育活動等の分かりやすい情報発信」については、約92%の方に「おおむね良好」という回答をいただきました。

今年度は、学校の教育方針や学校便り等の文書だけでなく、学校ホームページのブログを充実させ、毎日の児童の授業の様子や地域と連携した教育活動の様子を詳しくお伝えしてきました。そして、授業参観・懇談会も今年度は、年間を通して実施することができ、多くの皆様に足を運んでいただきました。また、今年は6年生児童を中心にアセ踊りの発表等を通して地域のお祭り等にも参加することができ、学校の取組を直接発信する機会を得ることができました。学校の教育活動に興味・関心を持って関わってくださっていることに深く感謝申し上げます。

次年度も保護者や地域の方々に分かりやすい情報、楽しんで見ていただける情報の発信に努めます。また、緊急の場合には、一斉メール配信も行い、迅速に対応してまいります。

<地域に開かれた学校づくり>

項目⑫「地域に開かれた学校」に関しては、毎年、非常に高い評価をいただいています。今年の「おおむね良好」の評価は、約95%となっており、昨年度よりよい評価をいただきました。皆様のご協力に大変感謝しております。

今年は、コロナ禍ではありましたが、感染対策を図りながら多くの学習活動にご協力いただき、大変充実した教育活動を進めていくことができました。アセ踊り保存会の皆様を始め、保護者・地域のボランティアの皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございます。次年度も、学校の明確な教育方針の下、総合的な学習の時間等のカリキュラムの見直しを図りつつ、児童の自発的な取組につなげ、より地域に主体性を持って関わられる教育活動を進めていけるよう、地域の連携を深めてまいります。

★「保護者は、学校の行事やPTA活動、地域の行事等を理解し、積極的に参加している。」の質問に対しても約82%の皆様に「当てはまる」と回答いただきました。今年度は、PTA活動もおおむね予定通りの実施ができました。さまざまなアイデアを出しながら実施していただいた学年行事や保体安全委員会のモルック大会も大変盛り上がりしました。また、広報委員会では、広報誌「大地」や文集「根っこ」も根白石小のよさや児童・保護者の皆様の温かさの伝わる内容にまとめていただきました。皆様のご理解とご尽力に誠に感謝いたします。新型コロナウイルスの感染収束を願いながら、次年度も保護者・地域の皆様との連携し、充実した教育活動を進めていきたいと思えます。

自由記述

〔保護者〕

全般	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍3年目となり、行事については感染対策を取りながら実施していただき感謝しています。 ・感染管理に努めながら修学旅行や学芸会を開催していただき子供たちもうれしかったと思います。 ・行事を通して日々の成長を実感しています。ありがとうございます。 ・今年度の行事、とても良かった。来年度もよろしく願いいたします。 ・最近コロナ禍での行事は、確立したこともあってか、工夫しながら行事が行えていることをうれしく思う。一方で、昔のように学校や子供たちと関わっていない気がして少し寂しいです。過保護・過干渉にならないように気をつけながらも関わっていききたいです。 ・コロナ禍でもできることを考えて進められたと思います。1学年1クラスということで、多人数の学校よりは感染・拡大もなかったと思います。楽しく通っているので何よりです。 ・コロナ禍の密にならないという状況になれてしまっている世の中において、学校の各行事にどこまであるいはどのように参加したほうがよいのか理解に迷う保護者も多くなるのかなと思います。コロナ禍前にはどれだけ先生方、児童、保護者同士が一緒になっていろいろなことをやってきたか知ってもらえる機会を作ってみるのもいいかなと感じています。 ・いろいろな制限のある中で子供たちがいきいきと活動する姿、主体的に学ぼうとする姿をすべての行事で見ることができ、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。子供たちの意見や気持ちに丁寧に耳を傾け、答えてくれる先生方の姿に私たち保護者も学びたいと思います。 ・学校HPで各学年の学習の様子がとても分かりやすく詳しく紹介されていてとてもありがたい。普段の授業の雰囲気や先生方の丁寧な指導の積み重ねが行事にも表れていると改めて感じた。いろいろな行事がコロナの前のように戻りつつあるが、いろいろな面で配慮しなければならないことが多く、先生方の負担ばかりが大きくならないようにしていただければと思う。 ・入学式・運動会・学芸会に参加して思ったことは、自分の子供が見えにくいということです。ステージの使い方を工夫して上の段を使う等していただけるとビデオも撮りやすいですし、低学年の背の低い子供たちも見えて良さそうです。小さい子を連れて前に座るのをためらう方もいると思うので、後方でも見えやすくなると嬉しいです。 ・コロナ対策の徹底に努めていただきたい。
入学式	<ul style="list-style-type: none"> ・写真販売とてもよかったです。思い出になりました。
運動会	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のみ(単独)での開催でいい。

学芸会	<ul style="list-style-type: none"> ・R4は全学年が見れる状況ではあったが、朝並ぶのはしなくていい。児童に席番号を引いてもらうのがいい。全学年が見られるというのであれば、せめて発表している学年の保護者が前方に座れるように入れ替えをしてほしい。 ・事前の配布プリントに、来賓席の記載がなかったが、当日は来賓席があり、一番前の半数近くが来賓席になっていた。せめて事前に告知してほしい。当日の急な変更は理解しがたく、1時間以上前から外で待つ保護者への配慮に欠けると感じた。 ・学芸会の保護者席はずっと前に座っている人がいたので、学年ごとに交代できるようなシステムにしてほしい。子供がステージの上の方で出ているときは、見えるが、下の方に下がってしまうと前の方に座っている保護者で全然見えなかった。来年は最後なのでちゃんと見れたらいいと思う。 ・昨年入れ替え制にしたこともあり、今年の高学年がやる時間に半分くらいの人がいなくなってしまう高学年がかわいそうだった。自分の子だけ見て帰りたい人などあらかじめアンケートをとって、帰る人が多そうだったら、高学年の家族の人数を増やしてもいいと思った。 ・学芸会の観覧席の順番は、学年ごとの入れ替え制がいいと思います。保護者も子供も近い方が確認しやすいし、表情もお互いを読み取れ、応援も届くのではないかな。 ・自撮り棒の使用やカメラを高く持ち上げて撮影する方がいて鑑賞することができなくて残念だった。 ・ステージの下に子供が出てきても、保護者席からは見えない。自分の子供の発表では保護者席の前に優先席を作るなど動画をとりながら前で見れるようにしてほしい。
校外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習の際のバスの運転の様子をたまたま見掛けたが、運転者の質や判断を問いたくなるマナーが見られた。安全面を考慮して、バス会社の選定をしっかりとしてほしい。 ・学年が上がるにつれて校外学習や地域の方々との関わりを深める行事が多いが、1・2年生は少なすぎる。低学年からバランス良くやるべき。もっと学校の外へ出て、地域の方と活動してほしい。
授業参観	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は去年ほど入場制限がなく、参加しやすかった。参観日の時はできるChromebook使用ではない授業も見たいです。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のSDGsの取組について、牛乳のストローなど洗ってプラのリサイクルにする習慣や紙類のプリントなどを雑誌として集めてリサイクルにするなど、実際に子供たちができる環境を整備し、やらせてほしい。ゴミ箱の中もプラや雑誌に分けるとどれだけ燃えるゴミが減るかなど具体的に見せてほしい。図書室にSDGsの本を置くだけでは足りない。ぜひやってください。期待しています先生方に。 ・「みんなでジャンプ」に参加した。寒い中先生方もきてくださり、子供たちを応援していただき、また逆に子供たちが先生を応援したりする姿にとってもよい活動に参加できたと感動した。運動会の競技にクラス対抗でなわとびをしたり校内でなわとび大会などを行ったりするのもいいのではないかな。 ・コロナ等いろいろ考えて子供たちのために実施していただきありがとうございます。行事のことではないですが、学校のトイレや手洗い場に合成洗剤ではなく、石けんのハンドソープを置いていただきありがとうございます。是非、仙台市すべての小中学校にも広げてほしいです。 ・ランドセルが重すぎて体と心が疲れているので、可能である物は置き勉OKとしてほしい。 ・夏休みは、Chromebookだけでなく、ドリル帳も宿題としてもらいたい。 ・マスクついて、体と心を考えてもうやめてほしい。

〔地域関係者〕

- ・先生方お疲れ様です。今後とも地域の子供たちのためよろしくお願いいたします。
- ・先生方に協力してもらい、おかげさまで楽しく活動しております。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。
- ・重点目標を意識されての指導に感謝します。校舎そして教室に入ると子供たち一人一人が学び合うことの楽しさを体いっぱい表現していました。自分の考えをもって友達に伝え合い伸びている学園として、母校愛を育んでください。
- ・挨拶や話を聞くことを次年度も努力してほしい。
- ・挨拶しても無視する児童がいる。中には怒りを感じるような反応をする場合もあるので指導してほしい。

令和4年度 第2回学校関係者評価委員会(令和5年1月27日開催)
各委員の皆様からの提言や感想

- ・昨年度と見比べてみると、トータル的にはよいが、項目別に見ると早寝・早起きや学習面に課題が見られる。メディア時間が影響しているのではないだろうか。学校だけでなく地域として取り組んでいけるとよい。挨拶に関しては、学校と地域の評価が低くなっている。今回、残念な結果であったので地域全体で取り組んでいけるとよいと思う。
- ・児童館では、自由来館も含め、多くの児童が利用している。挨拶・コミュニケーション能力を意識して取り組んでいる。例えば、仕事を終え、疲れて帰って来られる親御さんへ「お迎えありがとうございます」と声を掛けるなどまわりへの感謝の思いを職員共々心掛けるようにしている。
- ・児童館や児童センターに対するWi-Fi環境の要望がある。今後、chromebookでの宿題を児童館でも取り組むようなことになっていけば、ネット上のトラブルを防ぐため、学校と連携してルール等を考えていく必要が出てくると思う。
- ・挨拶は、する子としない子の二極化しているのではないだろうか。保護者の方にもさまざまなお考えがある。わが子だけ良ければというのはいかがなものか。いろいろな人と関わって子供たちを地域で育てようとしている。大人としての意識を持つことが大切だと思う。
- ・挨拶に関しては、数年前から「あれ？」という感じがしている。引っ越してこられる方が増えたことやコロナ禍ということもあり、顔が分からない。挨拶が返ってこない大人も多く、だんだん関係が希薄になってきているように思う。まずは、大人がしっかり挨拶できるような地域づくりをしたい。
- ・保護者の一人として感じていることとして授業参観の時の私語が気になる。
- ・メディア時間については、持っていない子は、友達の話題に入れない。他地域の話だが、タブレットで絵を描く時間やライン通話等、小学生でも長時間使用している話も聞く。学校と家庭で見守っていけるとよい。
- ・学校の教育活動に動きが出てきている。子供と先生方が一緒になって授業を進めている感じがする。校長先生のブログも見るようにしている。様子を伝えるだけでなく、学校からの発信でいい意味で保護者への働き掛けをしてもよいかもしれない。保護者も悩んでいると思う。学ぶ保護者を育てていきたい。親が変わらないと子供も変わらない。
- ・めざす学校像に書かれている「笑顔あふれる学校」にみんなで向かっているのではないかと思います。みんなで支えていきたい。
- ・思いやりの心が育っていると感じる。
- ・教育相談では、ニーズに応じて対応している。学校でも一人一人対応してくださっている。
- ・知らず知らずのうち自然にメディアが、侵食している。学校では本を読むが、家ではそれどころではないのかもしれない。
- ・挨拶については、昔は新聞に載るくらい地域でも挨拶できていた。今は、マスクで顔が分からない上、不審者情報もあり、挨拶しにくくなってきているのかもしれない。
- ・地域で子供の育ちに目を向け、小・中学校だけでなく幼稚園からつなげ、子供を大事にしていきたい。

今年度の教育活動も新型コロナウイルス感染症感染対策を行いながらの実施となりましたが、皆様のご理解・ご協力もいただきながら少しずつ従来の形に近付けながら実施をすることができました。本当にありがとうございました。皆様に支えていただきながら児童同士のかかわりが多く生まれ、校内だけでなく地域の中で伸び伸びと力を発揮する姿が見られるようになったことを本当にうれしく感じております。

少しずつ日常を取り戻してきたことで、多くの成果だけでなく今度への可能性も感じておりますが、コロナ禍を経て、児童を取り巻く環境や抱えている課題も変化してきていると感じております。保護者の皆様、地域の皆様からいただいたご意見をもとに、根小の児童が心身ともに健やかに成長できるよう、学習面と生活面の計画・実施をしていきたいと思っております。今後も本校の教育活動にご理解・ご支援をよろしく願いいたします。